

エンジニアリングデザイン学科

カリキュラムの特徴

エンジニアリングデザイン学科は、ものづくりに欠かせない従来技術分野の修得はもちろんのこと、グローバルに展開する産業界のニーズに適合しうる人材養成を目的とする学科で、図面の読める経営者や経営に参画できる技術者の養成を目的とします。具体的には、ものづくりに不可欠な設計・製図・実験などの修得だけではなく、デジタル生産技術・工業デザインなどを取り込むことにより、技術者、経営者として地球的にも活躍できる人材を輩出する。教育課程として「ファブラボ」「商品開発・デザイン」「バイオミメティクス・メカロボット」といった領域を用意し、各領域に共通の「見える工学・触れる工学」を実践したうえで、これを踏み台にした専門分野を体系的に学びます。すなわち、20世紀までの従来の設計・デザイン技術に加えて、ラピッドプロトタイピングのためのデジタルファブリケーション技術を取り入れ、工房や国内外での実習での体験を通じて企画力・マネジメント能力を培い、積極的に技術発信できる、21世紀型ものづくりに不可欠な人材を養成します。

卒業要件

- ① 修業年限を満たすこと
- ② 全科目の修得単位の合計が124単位以上あること
- ③ 卒業時における累積GPAが2.00以上であること
- ④ ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、玉川教育・FYE科目群から必修をすべて含み7単位以上を修得していること。
- ⑤ ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、人文科学科目群・社会科学科目群・自然科学科目群から各2単位以上、言語表現科目群のうち、必修選択科目（ELF101～ELF402）から8単位以上、学際科目群から2単位以上を修得し、合計18単位以上を修得していること。
- ⑥ エンジニアリングデザイン学科科目のうち、必修科目20単位を含み、62単位以上を修得していること。

卒業までの単位配分

ユニバーシティ・スタンダード科目	
玉川教育・FYE科目群 人文科学科目群 社会科学科目群 自然科学科目群 学際科目群 言語表現科目群	7単位 18単位以上 (人文科学科目群・社会科学科目群・自然科学科目群から各2単位以上、言語表現科目群のうち、必修選択科目(ELF101～ELF402)から8単位以上、学際科目群から2単位以上)
エンジニアリングデザイン学科科目	62単位以上
必修科目	20単位
自由選択科目	任意 ・他学部他学科開講科目 ・他大学との単位互換科目
卒業に必要な単位数	124単位

卒業研究着手条件

エンジニアリングデザイン学科において、第6 Semester（3年次）終了時に以下の卒業研究着手条件のチェックが行われます。

第6 Semester（3年次）終了時における卒業研究着手条件の進捗チェック

